

西木辻公園 都市計画廃止理由書

【公園概要】

奈良市が所有する西木辻公園（供用開始時は京終街区公園として告示）は昭和50年に近隣住民の憩いの場を提供する街区公園として都市計画により定められました。

【廃止理由】

西木辻公園（供用開始時は京終街区公園）については、都市計画決定に基づき設置（公園の告示は昭和51年11月8日付）されました。当該公園は奈良市の旧市街地に位置しており、個人の所有地を公園用地として土地賃貸借契約を締結し、公園として利用、昭和50年に都市計画事業認可の申請を行い、公園遊具を設置してきた経緯があります。

しかし、平成23年度の包括外部監査において当該公園について長期にわたり個人地を賃貸借して公園を利用することは適切ではないとの指摘があったことから、当該場所に公園を存続させておく必要性について検討を行いました。

まず、当該公園の構造については、東西にある入口の両方が個人の所有する敷地を通行しないことには公園に入れない状態であり、尚且つ道路から奥まった場所に位置していることから、外部から視認できず、防犯上の観点からみても十分な安全確保ができない公園であります。さらに当該公園の土地所有者に対して土地の買取交渉を行ったが、先祖伝来の土地であるという財産意識が強く、土地売却の意思はないとのことでもあります。

以上のことから、令和2年3月末をもって京終街区公園の賃貸借契約を解除し都市公園の廃止を実施しました。

代替公園の設置については、当該公園を中心とした誘致距離250m圏内に2箇所の街区公園が存在し、こちらで機能集約を行え、なおかつ広域公園でもある奈良公園も近郊に存在する状態であり、併せて令和8年度においては、近接する地域（南城戸町）において新たな都市公園を設置する予定（令和9年3月完成予定）であることから、廃止する公園の機能の補完が十分に可能であります。

以上のことにより都市計画の廃止を行うものです。